

ORACLE

ITおよびビジネス・リーダー 向けOracle Cloud Applicationsガイド

—
Oracle Platformでより優れたビジネス
を構築するための6つの原則



目次

Oracle Fusion Cloud Applicationsでビジネスの未来を築く.....	3
1: スイート・アプローチでデータの力を解放.....	4
2: フル・スタック・テクノロジー・プラットフォームを使用した堅牢なエンタープライズ・アプリケーションの開発、導入、管理.....	5
3: 複数レイヤーにわたる組み込みセキュリティによるデータの保護.....	7
4: 正確な分析が常に提供されることによる、より良い意思決定の迅速化.....	9
5: 自社のビジネス・エコシステム全体を強力な統合機能で連結.....	11
6: 最新の拡張機能とツールにより、事業環境の変化のスピードに合わせてイノベーションを実現	12
今日、クラウド移行への第一歩を踏み出しましょう.....	13



Oracle Fusion Cloud Applicationsで ビジネスの未来を構築

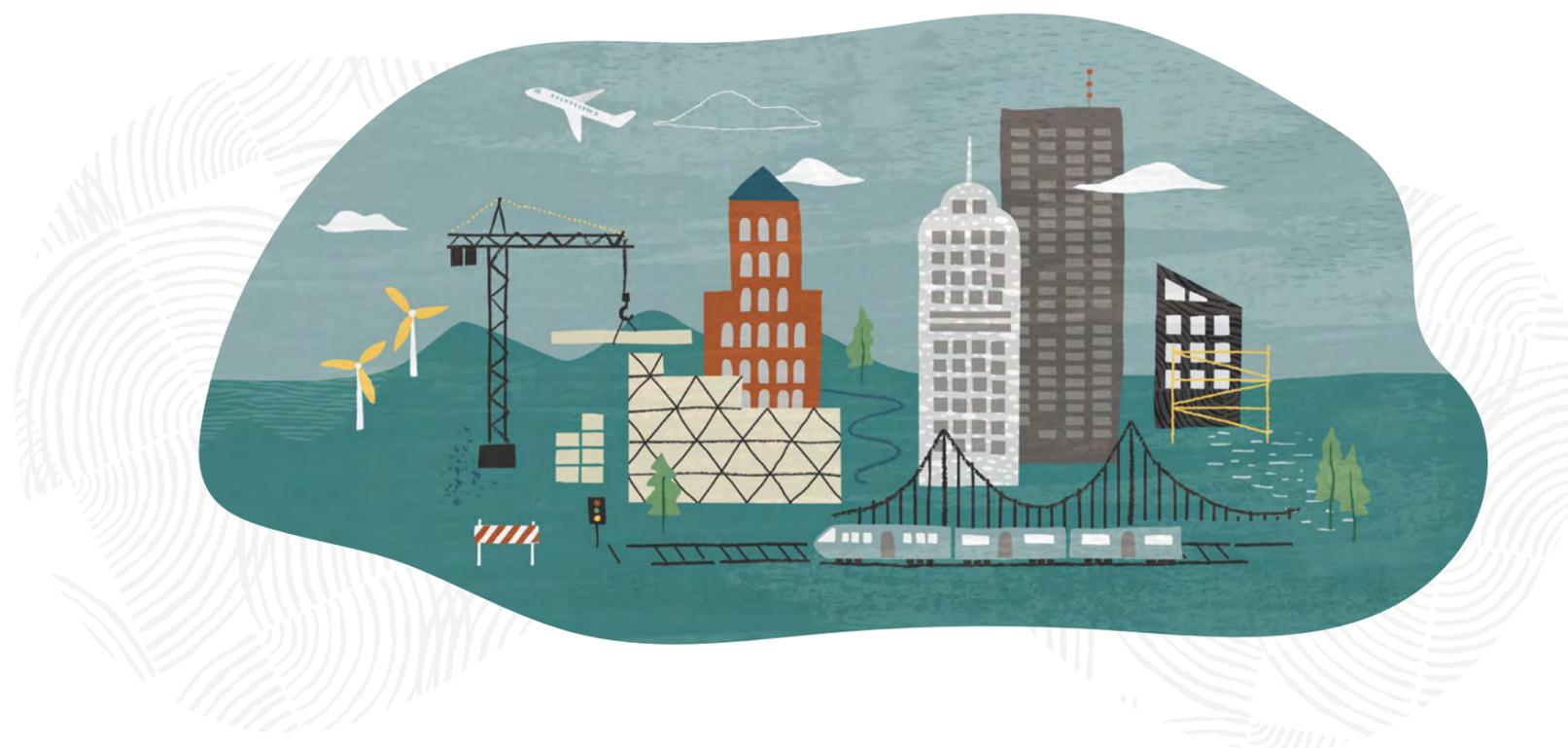
ビジネス・アプリケーションとは、家のようなものです：配管、電気、空調システムなどの連携により家の中全体が円滑に機能するように、ビジネスにおいても、さまざまなソフトウェアやテクノロジー・システムの連携が、顧客へのタイムリーな対応、従業員の管理、競合他社への対策、収益性の向上などを実現するために必要です。これらのアプリケーションには、情報を処理、共有、分析し、データを保護し、レガシー・システムからの脱却を支援することが求められます。

家を一から建てることは容易ではありませんし、家をリフォームするのは、さらに骨の折れる作業になりえます。適切なツールやパートナーが欠如している時のシステムの構築やアップデートにもそれと同じことが言えます。この過程において、顧客要求や変化するビジネス要件への迅速な対応、データ・セキュリティとシステム・パフォーマンスの確保、人材の確保と維持、新しいアプリケーションやシステムとレガシー・システムとの統合などに苦慮します。しかし、高品質でタイムリーな製品を提供するためには、システムにパフォーマンス、信頼性、拡張性のすべてが要求されます。

現在、住宅所有者が直面している多くの課題は変わってきています。例えば、自然災害や異常気象は、20年前にはそれほど問題視されていませんでした。情報テクノロジーの世界も、メインフレーム、ミッドレンジ、PC、そして現在のクラウドと、その短い歴史の中で急速に進化してきました。クラウドが特別である理由は、既存のビジネス・プラクティスを改善するだけでなく、ビジネスのあり方を変える、つまり、急速に進化する世界の課題に対処するためのより良い基盤を構築するところにあります。

ITリーダーが果たすべき任務は、企業のシステムを円滑に稼働させ、現在のビジネスをサポートすると同時に、今後起こりうる未曾有の課題に対処するための基盤を構築することです。

オラクルは、統合されたデータ、完全なテクノロジー・スタック、徹底したセキュリティ、広範囲にわたる分析、ビジネス統合、常に最新のイノベーションという6つの原則に基づいて、Oracle Fusion Cloud Applicationsとその基盤となるテクノロジーを構築しました。このeBookでは、適切なアプリケーションとテクノロジーが、あなたのビジネスにとって最高の「家」を建てる上でいかに役立つかをご確認いただくことを目的としています。これら原則の各々を順を追って説明していきます。



1: スイート・アプローチでデータの力を解き放つ

ビジネスはデータがすべての基本です。私たちは、膨大な量のデータを最もコスト効率の良い方法で保存し管理することは学んできました。しかし、ビジネスにおけるタイムリーな意思決定、新しい市場機会の発掘、顧客へのサービス、優秀な人材の発掘と維持のためのデータ活用は実現できているでしょうか。統合されたデータは、より精度が増します。スイート・アプローチにより、組織全体が真のシングル・ソースに基づいて活動できるようになり、チームの結束とより良い意思決定の迅速化に役立ちます。

コンポーザブルな ビジネス・テクノロジーで先手を打つ

今日のデジタル世界では、多くの企業がコンポーザブル思考やビジネス・テクノロジーを取り入れることで、混乱する状況を新しいチャンスに変えています。コンポーザブルな対応ができる組織では、顧客要求から財務モデルまで、ビジネス状況が頻繁に変化することを理解しています。そのため、従業員が新しい環境に適応できるように対応しています。

企業のIT環境は一般的に、過去を通じて蓄積されたさまざまなベンダーのハードウェアとソフトウェアが混在する異種混合環境が存在し、オラクルはそのことを理解しています。どの企業も、一夜にしてすべてを新しいプラットフォームと新しいアプリケーションに切り替えることができると考えるのは非現実的です。またそのように考える方もいないはず

です。だからこそ、機能を完全に網羅したクラウド・ソリューションに加えて、既にお持ちのソフトウェアと連携できるモジュール式のソリューションも提供するパートナーが必要なのです。これにより、必要な時に本当に必要なものを導入することができます。

Fusion Applicationsは、世界で最も包括的で革新的なアプリケーション・スイートです。

オラクルは、財務、サプライチェーン、製造、人事、マーケティング、販売、サービスなど、あらゆるビジネス部門と業界ニーズに対応したアプリケーションを提供しています。Fusion Applicationsでは、これらのアプリケーションを必要なタイミングで導入することができます。より多くのアプリケーションが導入されれば、その分データの統一が図れるという利点があります。

統一されたデータ、共通のワークフロー・エンジン、一貫したユーザー・インターフェースにより、データのサイロ化は発生しません。異なるアプリケーションで異なるデータベースを同期させるためのアプリケーション・レイヤーの代わりに、Fusion Applicationsはすべて同じデータベース・インスタンスにアクセスします。異なる事業部門のユーザーは、異なるアプリケーションを使用していても、同じデータに基づくリアルタイム・レポートを使用して意思決定をしています。また、データベース・レイヤーに導入されたセキュリティ対策がすべてのFusion Applicationsに適用されるため、リスクと管理コストを削減することができます。

ご自分のニーズやビジョンを家の設計に反映させるために建築家が必要であるように、データを統合したスイート・アプローチは、あらゆるビジネス課題に対応するために最新のテクノロジーを取り入れる上での基本原則となります。コンポーザブルな設計を採用した革新的なソフトウェアを導入することで、困難な状況を切り抜け、不確実な未来で成功するための強い基盤を確立することができます。



詳細はこちら:

概要: [統合データのシナジー効果](#)

2: フル・スタック・テクノロジー・プラットフォームを使用した堅牢なエンタープライズ・アプリケーションの開発、導入、管理

Oracle Cloud Infrastructure(OCI)は、Fusion Applications向けに設計された次世代のクラウドです。オラクルのアプリケーションは、最先端のデータセンターの全く新しいネットワーク、ハードウェア、セキュリティ、データベース、オペレーティング・システムのテクノロジーで実行されます。

オラクルは、自社のアプリケーションを自社のクラウド上で稼働させる唯一のクラウド・プロバイダーです。私たちのインフラストラクチャは、重要な事業運営に必要なパフォーマンス、セキュリティ、信頼性だけでなく、Fusion Applicationsのイノベーションを支えるツールやテクノロジーも提供します。私たちはOCIを活用して、セキュリティ、インテリジェンス、データ統合、テクノロジー導入における戦略的方向性を実現します。

パフォーマンスと信頼性

OCIに切り替えたことで、Fusion Applicationsのパフォーマンスは30%向上し、信頼性も高まりました。また、お客様に対するSaaSサービス・レベル可用性（SLA）のコミットメントを99.7%から業界をリードする99.9%へと引き上げました。その結果、お客様のダウンタイムの削減と生産性の向上を実現しています。

全世界で40以上のパブリック・クラウドと政府系クラウドのリージョンを持ち、さらに多くのリージョンの提供を予定しているOracle Cloudは、お客様が必要とする場所で必要な時にご利用いただけます。

急拡大するクラウド・リージョンのネットワークは、データ・レジデンシー要件と地域コンプライアンスをサポートします。オラクルのデータ・センターには、バックアップ発電機を備えたコンポーネントがあり、電力の冗長性に対応しています。ネットワーク・インストラクチャ、プログラム・サーバー、データベース・サーバーまたはストレージを含む、複数の層に冗長性を組み込むことができます。

厳密なデータ・レジデンシー、データ・プライバシーおよびセキュリティ、または低レイテンシ接続とデータ集約的な処理を必要とするお客様は、Fusion Applicationsをご自身のデータ・センターで実行することが可能です。OCI Dedicated Regionでは、Oracle Fusion Cloud ERP、HCM、SCMなどのオラクルSaaS製品の実行が保証されており、API操作やメタデータを含むすべてのデータをリージョン内にとどめながら、完全に統合されたクラウド・エクスペリエンスを提供します。

モニタリングと管理

Oracle Cloud Console for Fusion Applicationsは、Fusion Applications環境とすべてのOCIサービスに対して「1枚の窓ガラス」のような可視性と管理機能を提供します。重要な情報が一目でわかるように、アプリケーションのパフォーマンス監視、可用性メトリックの点検、課金と使用状況の確認などを行うことができるダッシュボードを構成することができます。Fusion Cloudの管理者は、新しいテスト環境、開発環境、本番環境を含む、Fusion Applications環境のエンドツーエンドのライフサイクルをコンソールから管理することが可能です。さらに皆さんに、コンプライアンス、ラーニング、サポートなどの豊富なリソースを一元化した同じ場所から簡単にご利用いただけます。



最先端の機能

OCIを活用することで、Fusion Applications内に最先端のテクノロジーを導入することができ、新機能を迅速に活用することができます。



AIと機械学習はFusion Applicationsの至る所に組み込まれており、支払割引を考慮したサプライヤーへの支払いタイミングの決定、財務および運用データによる最も可能性の高い結果の予測、より多くの販売を締結するための最適な対応、スキルを持つ個人と最適な業務を結びつけ、最適な人材をより容易に確保することなどを支援します。



デジタル・アシスタント（チャットボット）は、顧客や従業員からの質問や要望に応えるだけでなく、経費報告書の作成、フィールド・サービス技術者のスケジュール管理、プロジェクト・マネージャーの管理、出荷状況の確認、期末業務の調整などのタスクをサポートすることができます。



ブロックチェーンとIoTは、Oracle Intelligence Track and Traceの基盤を形成し、信頼できるサプライチェーン・ネットワーク内でリアルタイムの可視性を提供します。



Oracle Content Managementは、関連性の高い一貫したコンテンツを簡単に作成、シンジケート化し、デジタル・チャンネルを通じて配布することで、より良いカスタマー・エクスペリエンスを実現することができます。

イノベーションの加速

どれほど迅速にイノベーションを行ったとしても、独自の機能や業界固有の機能を追加したいと考えるお客様は必ず存在します。新しいOracle Applications Platformでは、開発者が使用しているのと同じ設計システムとツールを使用して、更新を中断することなく、お客様のニーズに合わせてアプリケーションを拡張およびパーソナライズすることができます。また、Oracle Applications Platformを活用してFusion Applicationsを拡張したり、独自に構築することが可能です。

Redwood Design Systemには、会話型エクスペリエンス、検索、データ・ビジュアライゼーション、インテリジェント・レコメンデーションなど、オラクルのアプリケーションと同じユーザー・エクスペリエンスを実現するためのテンプレートやコンポーネントがデフォルトで組み込まれています。これらのコンポーネントは、私たちが持つクラウド・サービスの力を最大限に活用し、推奨事項や検索結果を個々のユーザー・レベルにまで合わせることで、最も魅力的で生産性の高いユーザー・エクスペリエンスを提供します。

オラクルは、アプリケーションからインフラストラクチャまで、プラットフォーム全体を持っています。そして、お客様には、ビジネス価値を引き出すための基盤となる、セキュリティ、回復力、安定性、可用性の向上を実感していただいています。OCIは常に最新のテクノロジーで強化しているため、基礎が強固な家のように、決して劣化することはありません。このテクノロジーを基盤に、Fusion Applicationsは今後もOCIの力を活用し、お客様のビジネスにさらに大きなメリットを提供します。



詳細はこちら:

[Oracle Cloudリージョン](#)

[OCI専用リージョン](#)

[オラクルのAI戦略](#)

[オラクルのインテリジェントのトラックおよびトレース](#)

[Oracle Content Management for CX](#)

[Redwood Design System](#)

3: 複数レイヤーにわたる組み込みセキュリティによるデータの保護

セキュリティと脅威の状況は、急速に変化しています。データ量の増加、業種を超えた政府や業界のコンプライアンスや規制の変化、ビジネス要件の変化により、ビジネス・クリティカルなデータのセキュリティ管理は以前にも増して困難になっています。

重要なビジネス部門やインフラストラクチャ（水道、電力など）がインターネットに接続されることが増え、より多くのセキュリティ・リスクに直面しています。このような脅威は、AIなどの新しいテクノロジーと同様に急速に進化しています。IoTセンサーのような接続されたデバイスでさえ、セキュリティ脅威や侵害、さらには事業活動を完全に中断させるランサムウェアの侵入口となる可能性があります。接続性とAIの組み合わせは、新しいタイプのセキュリティ侵害が発生するさらなる可能性を生み出します。

クラウド・コンピューティングは従来のオンプレミス・コンピューティングとは根本的に異なります。従来のモデルでは、各企業では、自社内でセキュリティの脅威を回避していました。クラウドでは、ITソリューションのセキュリティ対策に関する選択権を確保しつつ、クラウド・サービス・プロバイダーのリソースとプラクティスを活用します。クラウドにおけるセキュリティとプライバシーの管理は、クラウド利用顧客とクラウド・サービス・プロバイダーの共同責任です。

政府機関や金融サービスなどの規制の厳しい環境で40年以上にわたって安全なデータ管理を実現してきたオラクルは、クラウド・セキュリティにおいて常に革新的な取り組みを続けています。

情報セキュリティ・プラクティスへの包括的なアプローチ

オラクルは情報セキュリティに総合的なアプローチをとり、ネットワーク、オペレーティング・システム、データベース、ソフトウェア・セキュリティの実践と手順が、包括的な内部統制、ガバナンス、監視によって互いに補完しあう多層防御セキュリティ戦略を導入しています。異なるクラウド・サービス・プロバイダーやテクノロジー・ベンダーに頼ることなく、初期設計からセキュリティを考慮してOracle Cloud Infrastructureを構築しました。OCIは、インフラストラクチャからアプリケーションまで、継続的かつシームレスに保護できるように設計されています。**ここでは、各レイヤーにおけるセキュリティへの取り組みについてご紹介します：**



物理的セキュリティ：データ・センターの物理的セキュリティに対するオラクルの層別アプローチは、建物そのものから始まります。私たちはパートナーとともに、軽車両の衝突による衝撃に耐えられるよう設計された耐久性のある素材で、データ・センター施設を建設しています。建物内では、境界バリア、セキュリティ・チェックポイント、カメラを使って、車両や人の出入りを監視しています。データ・センターに入るすべての人は、サイト固有のセキュリティ・バッジを持つか、承認されたアクセス要求とともに政府発行の身分証明書を提示しなければなりません。



ネットワーク・セキュリティ：オラクルは、分離されたネットワーク仮想化、安全性の高いファームウェアのインストール、制御された物理的ネットワーク、ネットワーク・セグメンテーションによって、プラットフォームのセキュリティを確保するOracle Cloud Infrastructureアーキテクチャを設計しました。私たちの物理的なネットワークアーキテクチャは、お客様のラック、ルーター、スイッチを互いに分離し、脅威の拡散のリスクを制限します。物理デバイスとソフトウェア・ベースの両方のネットワーク・アクセスを保護するために、認証と承認の要件、未使用のネットワーク・ポートの無効化、担当者のアクセス割り当ての定期的な見直しなど、厳格なセキュリティ・ポリシーを維持します。オラクルのスタッフは、Fusion Applicationsに接続するために、安全なVPN（Virtual Private Network）を搭載した承認済みのデバイスを使用しなければなりません。もちろん、私たちのネットワーク上で送信されるデータは、TLS 1.2以上やIPSecなど、さまざまな標準に準拠した安全なプロトコルを使用して常に暗号化されています。



ビジネス継続性：オラクルは、包括的なRisk Management Resiliency Programを維持し、事業を中断してしまうような事象に効率的に対応するためのフレームワークを確立しています。オラクルの事業継続の方針、基準、実践は、基本的に国際標準化機構（ISO）22301に従っています。



組織セキュリティ: 組織と業務のセキュリティは、個人、プロセスそして手順に重点を置いています。オラクルは、知る必要性、最小権限、職務分掌の原則に基づいて、システムおよび物理的なアクセスを仕事の責任に合せて調整します。オラクルには、Oracle CloudのインフラストラクチャのセキュリティやSaaS Securityに特化した専門家が社内に多数在籍しています。また、コンプライアンス・チームは、ISO/IEC 27002 Code of PracticeやNational Institute of Standards and Technology (NIST) 800-53および800-171などの規制や認証プログラムとの整合性に重点を置いています。



データ・セキュリティ: Fusion Applicationsでは、データ・アクセスはジョブ・ロールとセキュリティ・プロファイルで保護されます。ユーザーはデフォルトでアクセスを拒否され、業務部門の職務を通じて許可されたデータにのみアクセスすることができます。データベース管理者などFusion Applications以外のアクセスからデータを保護するために、暗号化、鍵管理、特権ユーザーのアクセス要件、アクティビティ監視、システム監査などを含むOracle Databaseのセキュリティ・ソリューションが使用されています。アプリケーション・データは、Oracle Transparent Data Encryption (TDE)を使用して保存時に暗号化されます。Fusion Applicationsのお客様は、さらなるセキュリティのために、データベース・ポルトとBreak Glassを使用してTDEマスター暗号化キーを管理し、認証ワークフローを用いてFusion Applications環境に対するオラクルの管理者アクセスを制御することができます。



セキュアな開発: 開発されるオラクル製品のセキュリティ保証が一貫して高いことを確実にし、開発者が一般的なコーディングのミスを犯さないよう支援するため、オラクルは、公式のセキュアなコーディング標準を採用しています。



アプリケーション・セキュリティ: Fusion Applicationsの中で、Risk Management Cloudは、Oracle Fusion Cloud ERPの財務データへのユーザー・アクセスの制御、ユーザー活動の監視、自動化によるコンプライアンス規制への義務の履行を支援します。Fusion Applicationsをより広範な悪意のある脅威から守るため、Oracle Web Application FirewallやIDおよびアクセス管理など、Oracle Cloud Infrastructureに組み込まれたセキュリティ・アーキテクチャを活用しています。OCIのID管理は、適応性のある認証技術で適切な人に適切なタイミングでアクセスを許可する柔軟なアクセス・ポリシーや、IDのライフサイクル管理機能など、初めて利用するユーザーがすぐに活用できる機能を備えています。

オラクルは、Fusion Applicationsやクラウド・インフラストラクチャにセキュリティを組み込み、イノベーションを継続しています。つまり、セキュリティは、後から付け足されるものではありません。ホームセキュリティに予防的かつ多層的なアプローチ（フェンスの設置からカメラの設置まで）をとるように、オラクルでは、ソリューションの各層にセキュリティを組み込んで、継続的かつシームレスな保護を実現し、お客様に安心をお届けしています。

詳細はこちら:

[OCIのセキュリティ](#)

[ネットワークのセキュリティ](#)

[安全な開発](#)

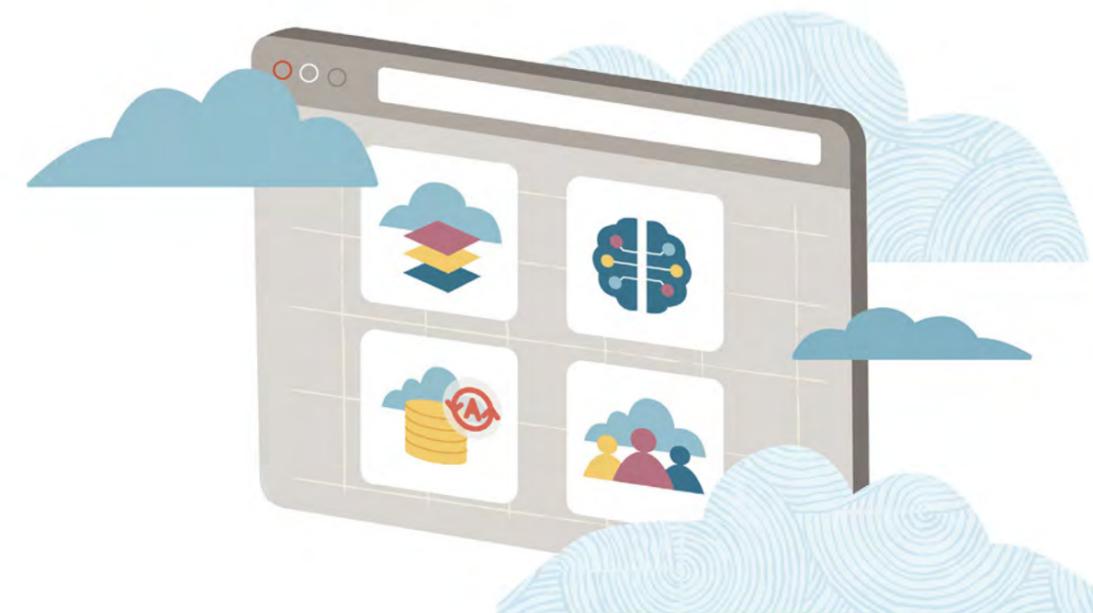
[クラウド・コンプライアンス](#)

[ビジネス継続性](#)

[アプリケーション・セキュリティ](#)

[アクセス・セキュリティ](#)

[データセキュリティ](#)



4: 正確な分析が常に提供されることによる、より良い意思決定の迅速化

変動が激しく、不確実で複雑なこの世界で生き残り、成功するために、企業は常にパフォーマンスを把握し、これまで以上に迅速に意思決定をする必要があります。顧客の獲得と維持、従業員のエンゲージメント、業務の効率化等によって、利益を見出す取組みが実施されていますが、ほとんどの企業では、データに基づいた意思決定を実践するデータ文化の構築に苦心しています。

これは、意思決定者がビジネスのあらゆる部分のパフォーマンスを監視するために必要な数値を迅速に取得するうえで苦勞するケースが多いことも一因となっています。各部門が異なるツールを使い、異なる結果や結論を出すと、意思決定者は複数のソースから必要な数字を抽出するために多くの不必要な時間を費やすことを余儀なくされます。サイロ化したデータを手作業で接続することは、時間とリソースを要するだけでなく、エラーの原因にもなりがちです。

オラクルの分析戦略は、部門に関係なく、一貫した正確なKPIとメトリックによって、重要なインサイトへのタイムリーなアクセスを支援することを目的としています。私たちは、日常業務や意思決定をサポートするために、Fusion ApplicationsにおいてリアルタイムなレポートやKPIを提供します。詳細な傾向分析、機械学習、予測分析などの高度な機能が必要な場合には、Oracle Fusion Analyticsが即時に使用できる部門横断型の分析機能を提供します。

デフォルトのソリューションによりビジネス全体で統一された分析を実現

Oracle Fusion Analyticsは、Oracle Cloud Applications（ERP、HCM、CX、SCM）向けにデフォルトのクラウドネイティブな分析アプリケーションを包括的に備えており、ビジネスのあらゆる部分を理解し、迅速な意思決定を行うためにすぐに使用できるインサイトを事業部門のユーザーに提供します。

ほとんどの企業では、トランザクション・アプリケーション（ERP、EPM、SCM、HCM、CX）がすべてのトランザクション・データを管理しています。Oracle Fusion Cloud Applicationsでは、このデータをリアルタイムかつメモリー内で分析することが可能です。Oracle Cloud Applicationは分離されているわけではありません。Fusion Analyticsを使えば、これらのトランザクション・アプリケーションのデータだけでなく、オラクル以外のデータ・ソースも網羅的に分析することができ、企業にとって真のシングル・ソースになりえます。

オラクル独自の幅広く詳細な分析機能とアプリケーション機能を組み合わせることで、組織は分析業務を統一し、部門を超えたパフォーマンスを単一の共通ビューで把握することができます。Oracle Fusion Analyticsは、単一の部門横断的なデータ・モデルに対して機能する、パッケージ化されたビジネス・アプリケーション分析のセットを提供します。意思決定者は一か所で重要な数字を包括的に把握することができ、チームや部署がビジネス・パフォーマンスに関する標準的な定義に沿うことで、より良いコラボレーションを実現することができます。

これらのソリューションは、分析ワークフロー全体のためのデフォルトのコンポーネントを提供することにより、時間のかかる設計、開発、および統合のタスクを排除します。

すぐに使用可能な
ベストプラクティス
のキー・パフォーマンス
インジケータ
(KPI)とダッシュ
ボード

Oracle Cloud
Applications
向けのデフォルト
のネイティブ・デー
タ・パイプライン

Oracle Cloud
Applicationsデー
タに対するデフォルト
の単一分析データ・
モデルとビジネス・
ビュー

Oracle Cloud
Applicationsから
引き継いだロール
ベースのセキュリティ

基盤を構築するための、将来を見据えたデータ・アナリティクス・プラットフォーム

Oracle Fusion Analyticsは、Oracle Analytics Cloud (OAC) とOracle Autonomous Data Warehouse (ADW) の革新的で堅牢なプラットフォーム・サービスを搭載しており、ビジネス・ユーザー、データ・エンジニア、データ・サイエンティストによる分析の強化を実現します。すぐに使用できるサービスをビジネス分析ワークフロー全体で利用して、データに内在するインサイトを結び付け、準備、モデリング、探索、共有、活用ができます。

直感的なユーザー・エクスペリエンスで作業を迅速に行います。自宅でも、職場でも、役員室でも、どのデバイスからでも一貫した安全なユーザー・エクスペリエンスが提供され、テキストや音声による簡単な検索で、必要な回答（ビジュアルでの回答や音声による結果の説明）を得ることができるようになります。

カスタム・ビジュアライゼーション、ダッシュボード、レポート をセルフサービスで簡単に作成し、主要な数字を使った魅力的なビジュアルを構築することができます。

クラウド、オンプレミス、またはハイブリッド導入のいずれにおいても、Oracle Cloud Applicationのデータ・ソースを追加して分析を拡張することができますこのプラットフォームでは、外部データをOracle Cloud Applicationのデータと同じデータ・モデルにロードしたり、Google BigQuery、Salesforce、Snowflakeなどのネイティブ・コネクタを介してさまざまなソースに接続するオプションが提供されます。

機械学習でより高精度な予測を実現します。Oracle Fusion Analyticsは、特定のビジネス・プロセスに対してすぐに使用できる機械学習(ML)を提供します。さらに、ユーザーは同じFusion Analyticsプラットフォームを活用して、独自のMLを活用したユース・ケースを構築したり、数クリックでセルフサービスのMLや予測分析を簡単に適応することができ、ビジネス・ユーザー、アナリスト、データ・サイエンティストをサポートします。



詳細はこちら:

[Oracle Fusion Analytics](#)

[Oracle Fusion SCM Analytics](#)

[Oracle Fusion ERP Analytics](#)

[Oracle Fusion CX Analytics](#)

[Oracle Fusion HCM Analytics](#)

5: 自社のビジネス・エコシステム全体を強力な統合機能で連結

ビジネス運営は単独で成り立つものではありません。統合は当然のことです。統一されたデータと共通のワークフロー・エンジンは、Fusion Applicationsの間で信頼できる唯一の情報源を提供しますが、外部のビジネスサービスやアプリケーションとの接続が必要になる可能性があります。

例えば、売上税計算のための税務パートナーとの統合や、電子決済のための金融機関への支払いファイルの送信を可能にするなど、Fusion Applicationsは、従うべき厳しい基準やプロトコルを確立したサービス・プロバイダーや組織とすぐに統合することが可能です。

Fusion Applicationsは、他のアプリケーションと迅速に統合するために、Oracle IntegrationとOCI Process Automationのデフォルトのアダプタを活用し、さまざまなビジネス・ニーズに対応します。



Webサービス（SOAP）、ビジネス・オブジェクト、REST APIを見出し、自動マッピングを生成して、低レベルAPIを扱う際の技術的な複雑さを簡略化します。これらのAPIは、Fusion Applicationsのデータレコードにほぼリアルタイムでアクセスすることができます。



Fusion Applicationsのビジネス表のデータを更新するために、バルク・データ・ファイルを安全にアップロードすることができます。これらは、エージェントからの派遣社員の人事データをリフレッシュするような、バッチジョブで処理される大容量のデータです。



運送会社からの配達確認後に請求書を作成するなど、イベントに応じた業務プロセスを自動化します。



新しい従業員のための施設へのアクセス・バッジや勤務証明書の確認など、新しいプロトコルを実施するために、明確に定義されたセキュリティの役割と権限の仕組みを提供します。

実際にオラクルは、オンプレミスやその他のクラウド・アプリケーションでこの統合を利用して、お客様のデジタル・トランスフォーメーションを支援しています。私たちは、お客様がFusion Applicationsを導入する際に、既存のシステムとデータを同期させたり、他のアプリケーション（オンプレミスまたはクラウド）を含む既存のビジネス・プロセスを維持したり、Fusion Applications、第三者のシステム、人間の活動を含む新しいプロセスを組織化する必要があることを理解しています。

Oracle Integrationを使用するお客様は、豊富なデフォルトのアダプタ・コレクションを用いた他のERP、HCM、またはCXアプリケーションとの接続の迅速な構築、ドラッグアンドドロップによるビジネス・プロセスの自動化、MLを活用したデータ・マッピングに関する提案の取得が可能になります。Oracle Integrationでは、本番環境において、一元化されたダッシュボードでデータの流れやトラフィックを管理および監視し、ほぼリアルタイムの分析により複数のアプリケーションにまたがるビジネス・プロセスに関するインサイトを取得することができます。

家の設備がプロバイダー・サービスと接続する必要があるのと同様に、お客様のビジネスがデジタル経済の他の部分と接続する必要があることをオラクルは理解しています。Oracle Integrationには、Fusion ApplicationsのAPIと即時利用可能な統合、およびデフォルトのアダプタを追加しているので、取引先との接続方法を検討するよりも、取引先とのビジネス拡大に時間を費やすことができます。



詳細はこちら:

[Oracle Integration Cloud](#)

[オラクルのアプリケーション統合](#)

[デフォルトのアダプタ](#)

[オラクルのプロセス自動化](#)

6: 最新の拡張機能とツールにより、事業環境の変化のスピードに合わせてイノベーションを実現

継続的な変化には、継続的なイノベーションが必要。オラクルは、競争力を維持し、進化する市場環境に対応できるように、最新の機能とテクノロジーを提供します。

アナリストからクラウド・アプリケーションのリーダーとして評価されている Fusion Applicationsは、四半期ごとに新機能を更新し、インフラストラクチャ・サービスに加え、データベース、オペレーティング・システム、セキュリティ対策の最新機能拡張やパッチとともに提供されています。これにより、アプリケーションが基盤となるプラットフォーム環境と同期しないリスクを大幅に低減するだけでなく、ML、AI、NLPなどのイノベーションと次世代機能へのアクセスが可能になり、より優れたビジネスインサイトを実現し、実質的なビジネス価値を高め、変化を機会に変えます。

四半期ごとの更新をスキップすることはできませんが、ユーザー・エクスペリエンスに影響を与える新たな機能拡張は提供後、デフォルトでオフになっています。そのため、更新後、システムは前日と同じように動作するように設計されており、新機能を利用するかしないかはお客様が決定することができます。

独自の機能拡張の作成

独自のニーズを持つお客様は、Fusion Applicationsの既存機能を拡張したり、Oracle Applications Platformのツールやテクノロジーを使用して独自のアプリケーションを作成することができます。



Redwood UX Building Blocks: このソフトウェア開発ツールキットは、Redwoodリファレンス・アプリケーション、ページ・テンプレート、コンポーネント・リポジトリ、リファレンス・アーキテクチャ、デザイン・ガイドなど、コンシューマ・グレードのアプリケーションを効率的に作成するためのUXリソースを提供します。



Telemetry: UXコンポーネントに埋め込まれ、DevSecOpsツールと統合されたテレメトリ・コンポーネントを使用することで、現実世界の利用行動やサービス品質に関する詳細な分析をすぐに行うことができます。



検索: AIと機械学習に対応したサジェストや誤字脱字に強いテキスト検索により、高速でスケーラブルな検索機能をアプリケーションに組み込み、学習した結果をデバイス間で保持することができます。



対話型エクスペリエンス: Oracle Digital Assistantのコンポーネントが組み込まれているため、使いやすく、ユーザーの望ましい行動を促進するアプリケーションの迅速かつ容易な構築を支援します。



ビジネス・ロジック: ユーザーの行動履歴に基づき、最も可能性の高いデータ入力や次の行動を表示する機能を備えているため、追加のコーディングなしに予測的で生産性の高いユーザー・エクスペリエンスを実現することができます。



ローコード開発: Oracle Visual Builder Studioは、複雑なソフトウェア・アプリケーションの開発スキルを必要としない、Fusion Applicationsの拡張や新しいアプリケーションの構築を支援します。



データ・ビジュアライゼーション: Oracle Analytics CloudのRedwoodアナリティクス・コンポーネントは、Redwoodアプリ内にデータ・ビジュアライゼーションを埋め込み、必要な場所でデータのインサイトを提供する上で役立ちます。

家の改築や増築が必要になることがあるように、ビジネスでも独自のニーズに対応した機能を導入することが必要な場合があります。オラクルの継続的なイノベーションの提供は、テクノロジー負債を解消します。このことは、最新のツールや製品を必要とされるタイミングで利用する上での助けとなります。Oracle Applications PlatformとRedwood Design Systemを使用すれば、ご使用のFusion Applicationsをまさに自社独自のものにすることができます。

詳細はこちら:

[Fusion Cloud Applications の
四半期更新](#)

[Oracle Applications Platform](#)

[Redwood Design System](#)

[Oracle Cloud Applications の
リーダーシップ](#)

今日、クラウド移行への第一歩を踏み出しましょう

家を建てるときの究極の目標は、将来にわたり長持ちする住まいを作ることです。同様に、今日のITに関する意思決定は、ビジネスの将来に大きな影響を与える可能性があります。長期間にわたって付き合い、変化するビジネス状況を乗り越えるために支援してくれる経験豊富なパートナーが必要です。

安全なデータ管理で数十年の歴史を持ち、世界175カ国以上で43万人以上の顧客を有するオラクルは、お客様が信頼できるパートナーです。私たちは、これまで数え切れないほどの組織を、私たちのテクノロジーによるイノベーションで支え、襲い来る混乱を克服してきました。

オラクルでは、ビジネス・プロセスをクラウドで最新化することで、オラクル自身においてもビジネスの回復力を築き上げました。そのエクスペリエンスから学んだことは、クラウドの利点を生かし、企業全体のデジタル・トランスフォーメーションをうまく段階的に進めていくためのガイダンスとして役立っています。

現在、世界中でオラクルのビジネスのあらゆる側面がクラウドにおいて実行されており、お客様に最高のテクノロジーを提供するために、過去10年間で640億ドル以上の研究開発投資を実施してきました。既存または新規のビジネスプロセスの改善、ある主要な分野での革新、統一されたアプリケーション・スイートによるデータのサイロ化など、お客様が求めるものが何であれ、私たちはその道のりのあらゆる段階をサポートします。

「今日の市場で入手可能な最も高度なグローバル・クラウド・インフラストラクチャを備え、且つ、ビジネスのあらゆる側面に対応する最も深く完全なSaaSアプリケーション・セットを有しているのはオラクルだけです。」

オラクル、会長兼最高技術責任者、ラリー・エリソン



リソースの使用を開始する:

[Oracleのクラウド・ジャーニー](#)

[Oracle Fusion Cloud ApplicationsとOracle Cloud Infrastructureの連携が優れている理由](#)

[Oracle Fusion Cloud Application Suite](#)

[ご連絡ください](#)



オラクルへのお問い合わせ

0120-155-096にお電話いただくか、[oracle.com/jp/corporate/contact/](https://www.oracle.com/jp/corporate/contact/)にアクセスしてください。
<https://www.oracle.com/jp/corporate/contact/field-offices.html>で最寄りのオフィスをお探しいただけます。

-  blogs.oracle.com
-  facebook.com/oracle
-  twitter.com/oracle

Copyright © 2023, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更される場合があります。この文書は、誤りのないことを保証するものではなく、口頭や法の指示によるいずれの場合も、販売可能性や特定用途への適合性について暗黙の保証や条件を含め、その他の保証や条件の対象となるものでもありません。当社は、この文書に関していかなる責任も負わないものとし、この文書によって直接的または間接的にいかなる契約上の義務も発生しないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても複製または送信することはできません。

このデバイスは、連邦通信委員会の規則によって義務付けられている認可を受けていません。このデバイスは、認可を取得するまで、販売またはリース用に提供されたり、販売またはリースされたりすることはありません。

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

IntelおよびIntel XeonはIntel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標はライセンスに基づいて使用されるSPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴおよびAMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devicesの商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。0120

免責事項: データシートに免責事項が必要かどうか不明な場合は、収益認識ポリシーをお読みください。内容および免責事項の要件についてさらに質問がある場合は、REVREC_US@oracle.comまで電子メールでお問い合わせください。

